

耳成山風致保全方針

1 地区の概況

地区の中央に位置し、大和三山の一つとして、歴史的、景観構造的に重要な要素である耳成山の保全に努めるとともに、周辺集落においては大和三山の緑の稜線や藤原宮跡との調和を図るように配慮する。また、地区の南に位置する、藤原宮跡から眺望の保全・確保を重視するものとする。

平地の中の孤高丘としてそびえる緑の稜線は奈良盆地よりの遠景として親しまれ、奈良の代表的なランドマークの一つとなっており、その豊かな樹林地は歴史的風土特別保存地区に指定されている。このため、周囲を取り巻く住宅、特に、旧集落については屋根並みの保全に努めるとともに、大規模開発地についても緑化の促進等周辺景観との調和に配慮するものとする。

2 地区の風致特性

(1) 風致構成要素

自然保全＋歴史保全＋市街地育成型

(2) ランドマーク

遠景：耳成山

中景：耳成山

(3) 主な視点場

藤原宮跡、国道165号、甘樫丘、山辺の道

3 地区の維持・創出すべき風致の内容

(1) 保護すべき要素

耳成山の稜線、緑地

(2) 維持・保全すべき要素

- ・耳成山に近接する屋根並み（遠景）
- ・緑の多いまちなみ

(3) 育成すべき要素

- ・歴史的環境との調和（屋根並み）
- ・緑地との調和（色彩等）

4 ゾーンごとの建築物等の修景に関する方針

○ゾーン1（保護区域）

【概況】

- ・耳成山は、高さ140mの平地の中に突出した丘陵地であり、常緑広葉樹林が豊かに生い茂っている。丘陵自体が史跡であり、景観の維持・保全が良好に図られている。
- ・奈良を代表する景観の一つとして、山全体の景観保全が必要である。

【方針】

- ・原則的に現況を凍結的に保存する。
- ・樹林については、管理・維持目的以外では伐採を行わないものとする。
- ・管理用工作物等の高さや色彩は、森林の中で目立たないようにする。

○ゾーン3（維持・保全区域）

【概況】

- ・丘陵の麓の農地であり、耳成山と一体となって全体景観を形成している。

- ・ 緑の多い全体景観の保全が課題である。
- ・ 旧集落地景観の保全が課題である。

【方 針】

- ・ 建築物、工作物については、周辺の緑地、まちなみに調和する高さ、形状、色彩とする。
- ・ 極力緑地の維持を図る。特に、敷地の周囲は、緑化に努める。

○ゾーン7（維持・保全区域）

【概 況】

- ・ 丘陵の麓の住宅地であり、その屋根並みは、遠望の中で重要な要素となっている。
- ・ 緑地を背後にした屋根並みの統一感の維持が課題である。

【方 針】

- ・ 建築物については、形態、色彩が周囲のまちなみに調和するものとし、緑地を背景としたまちなみの統一感の維持を図る。
- ・ 工作物については、周囲のまちなみ、背景となる緑地と調和する仕上げ、色彩とする。
- ・ 緑地の保全、緑化の促進を図り、背後の緑地との一体感を高める。特に、道路面への緑化を図り、まちなみの一体感を維持する。

○ゾーン8（育成区域）

【概 況】

- ・ 丘陵の麓の比較的密度が高く、緑の少ない住宅地等である。
- ・ 周囲の緑地との調和を図り、まちなみに一体感を創出することが、課題である。

【方 針】

- ・ 建築物については、周囲のまちなみに調和した形態、色彩とする。
- ・ 工作物については、周囲のまちなみに調和した仕上げ、色彩とする。
- ・ 道路面への緑化を促進し、まちなみの統一感の創出を図る。